

美野里ハイタウン通信11

2004年1月16日



集会室の建物1階に

「不法居住者対策事務所」という立て看板が出てい

ます。ちょっとコワそう...でも何をやるどころなんだ？

思い切って現場監督の山田明弘さん(26)にインタビューしました。

12月22日の昼休みに、事務所でお話をうかがいました。

ポ-ポン(以下^ボ):

不法居住の人がたくさんいる、ということは聞いていたが、山田さんたちのお仕事は、そういう人に出ていってもらう、ということですか。



山田さん(以下^山): いいえ、人が出て行ったあとに、不法居住者が入り込めやすいように、中を住めない状態にして、入り口をふさぐ、ということなんです。

^ボ これまでに何か所くらい、そういう工事をしましたか。

^山 30~40か所は、やりましたね。

^ボ 部屋に残されていた家財道具などを、ゴミ置場を作って分別して捨てていきますよね。

^山 あれはゴミ置場ではありませんよ。保管場所なんです。部屋から運び出した物は1つ1つ写真にとって記録しています。

^ボ 最近、イラスト付の看板や、写真が飾ってありますが。

^山 自分が作りました。ここに住んでいる子どもが、友だち来た時「ゴミだらけ」とか言われたら、かわいそうでしょ？ だから子どもの目の高さに、自分で撮った写真なんかを飾っているんです。子どもが大好きなんですよ。

^猫 事務所には、観葉植物の鉢植が部屋に残されて枯れていたのに水をやったら2日で元気になったそうです。

